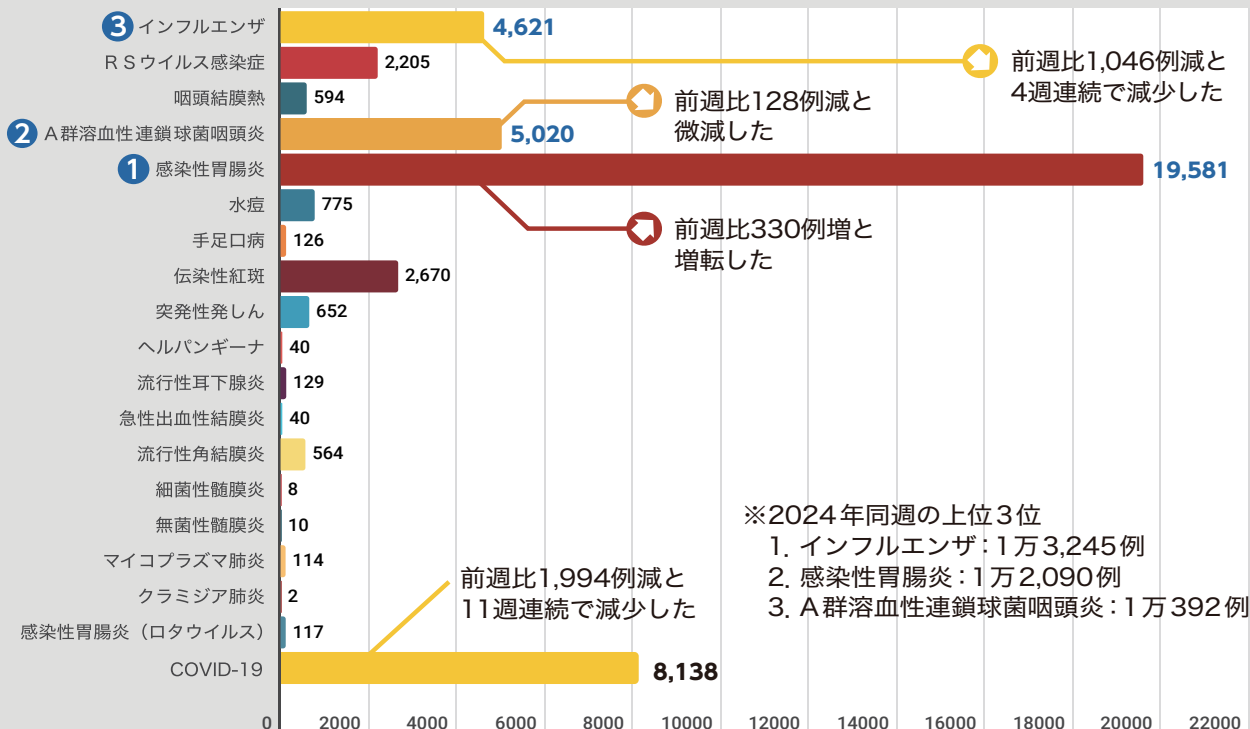




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

## コロナ11週連続減、伝染性紅斑は増加

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

### ① 感染性胃腸炎

#### 報告数

1. 東京都: 2,057例
2. 大阪府: 1,561例
3. 神奈川県: 1,078例

#### 定点当たりの報告数(8.26)

- |               |                |               |                |
|---------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. 宮崎県: 18.80 | 4. 愛媛県: 14.43  | 7. 山口県: 12.23 | 10. 群馬県: 10.92 |
| 2. 大分県: 15.69 | 5. 鹿児島県: 13.00 | 8. 広島県: 11.33 | 11. 福井県: 10.80 |
| 3. 香川県: 15.46 | 6. 石川県: 12.86  | 9. 岡山県: 11.14 | 12. 佐賀県: 10.50 |

### ② A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

#### 報告数

1. 東京都: 672例
2. 北海道: 370例
3. 千葉県: 363例

#### 定点当たりの報告数(2.12)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 4.71 | 4. 鳥取県: 3.89 | 7. 福岡県: 3.10 | 10. 大分県: 2.89 |
| 2. 愛媛県: 4.57 | 5. 北海道: 3.63 | 8. 千葉県: 3.08 | 11. 埼玉県: 2.75 |
| 3. 栃木県: 4.41 | 6. 富山県: 3.52 | 9. 新潟県: 3.07 | 12. 秋田県: 2.69 |

### ③ インフルエンザ

#### 報告数

1. 東京都: 519例
2. 大阪府: 288例
3. 北海道: 271例

#### 定点当たりの報告数(1.19)

- |              |              |               |               |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 秋田県: 4.72 | 5. 岡山県: 2.04 | 9. 宮城県: 1.58  | 12. 岩手県: 1.53 |
| 2. 沖縄県: 2.51 | 6. 長野県: 2.00 | 10. 山形県: 1.56 |               |
| 3. 富山県: 2.43 | 7. 青森県: 1.73 | 11. 群馬県: 1.56 |               |
| 4. 福島県: 2.06 | 8. 北海道: 1.63 | 12. 栃木県: 1.53 |               |

### 今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週から微増した。地域別の定点当たり報告数は警報レベル(20.00)超えはなかったものの、宮崎県(18.80)、大分県(15.69)、香川県(15.46)、愛媛県(14.43)、鹿児島県(13.00)と九州・四国地方でいまだ流行傾向にある。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は先週から横ばい状態にある。インフルエンザは4週連続で減少して5,000例を割り込み、COVID-19は11週連続で減少し、ついに1万例を割り込んだ。なお4月7日からは急性呼吸器感染症(ARI)のサーベイランス開始に伴い、インフルエンザとCOVID-19の定点医療機関数は約5,000医療機関から約3,000医療機関に変更されている。伝染性紅斑は増転し、警報レベル(2.00)を超える地域は栃木県(4.00)、北海道(3.13)、福島県(2.82)、群馬県(2.68)、山形県(2.62)、富山県(2.31)の1道5県だった。第15週の定点としては過去10年で最高値となった。引き続き各感染症の動向を注視したい。